

平成 24 年度

事業報告説明書

公益財団法人 大阪認知症研究会

事業報告説明書

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

1. 助成事業

○事業趣旨：

◇医学研究助成・・・団体及び個人が実施している研究に対して積極的に助成することにより、研究の着実な成果を見いだし、認知症の問題・課題の解決を図る。

◇海外派遣助成・・・海外の認知症研究者との研究交流をはかることによって、当該分野における研究レベルの向上を企図する。

○応募期間：

平成 24 年 5 月 1 日から同年 5 月 31 日

○応募資格：

認知症の研究にあたっている大阪府域の大学、研究所、医療機関、保健施設等に属している者。但し、弊財団で前年度に助成を受けられた方は応募不可。

○助成対象研究：

- (a) 認知症疾患の臨床的研究
- (b) 認知症疾患の発症危険因子に関する研究
- (c) 認知症疾患の病因に関する研究
- (d) 認知症疾患の病態に関する研究
- (e) 認知症疾患の方の介護、看護技術に関する研究
- (f) 認知症疾患の方の地域ケア、処遇に関する研究

○助成金予算：

◇医学研究助成・・・300 万円 ※件数は特に定めず

◇海外派遣助成・・・40 万円 (2 件)

○応募・選考件数 (金額)：※詳細は別紙に記載

同年 6 月 19 日、4 名の選考委員による選考の結果、助成対象 5 件を決定、同日理事会で承認。

	医学研究	海外派遣	合 計
予 算	300 万円	40 万円	340 万円
応募件数	7 件	1 件	8 件
選考件数 (金額)	4 件 (319 万円)	1 件 (20 万円)	5 件 (339 万円)

○助成金贈呈：

同年7月24日、助成金贈呈式を実施（於 千里阪急ホテル）

2. 啓発事業

(1) 認知症講演会開催

○開催日時：

平成25年2月3日（日）午後2時～4時半

○実施場所：

千里ライフサイエンスセンター5階ライフホール

○対象者並びに参加費：

一般府民、参加費無料

○講演内容：

座長・・・三木 隆己氏（大阪市立大学大学院 教授）

講演1・・・「アルツハイマー病の診断と治療薬について」

～大阪市立大学大学院医学研究科脳神経科学 教授 森 啓氏

講演2・・・「認知症の人や家族の課題と対処法」

～松本診療所ものわすれクリニック 院長 松本 一生氏

○当日参加人数：

406名（申込受付490名 ⇒ 参加率82.3%）

○本事業への寄付金：

製薬会社6社 合計590,000円

（イーライリリー、ヤンセンファーマ、小野薬品、エーザイ、ファイザー、富士フィルムRIファーマ）

(2) 公益財団の移行認定を記念し小冊子「いきいきと暮らせる長寿社会へ」無償配布

発行部数：500部（配布先は講演会来場者、行政他）

(3) 他団体への後援（協賛）

なし

以上

医学研究助成の部

助成対象者氏名	年齢	所属機関	助成金額 (万円)	研究課題
橋本 博史	45	大阪市立大学大学院医学研究科 神経精神医学教室	73	レビー小体型認知症における内側側頭葉の萎縮と臨床症状との関連について
釜江 和恵	39	公益財団法人 浅香山病院 精神科 認知症疾患医療センター	73	外来通院患者、及び入院患者に対する認知症疾患別の睡眠パターンの測定とケアの開発
武田 景敏	36	大阪市立大学大学院医学研究科 老年内科・神経内科	73	脳内セロトニンの動態と BPSD に関する PET 研究
森原 剛史	44	大阪大学大学院 医学系研究科精神医学教室	100	蛋白修飾によるタウ蛋白分解過程への影響とタウ分解促進治療薬の開発
助成対象者 合計 4 件			319	

海外派遣助成の部

助成対象者氏名	年齢	所属機関	助成金額 (万円)	研究課題
丸山 大輔	28	大阪大学大学院 医学系研究科精神医学教室	20	Alzheimer's Association International Conference (Canada)
助成対象者 合計 1 件			20	